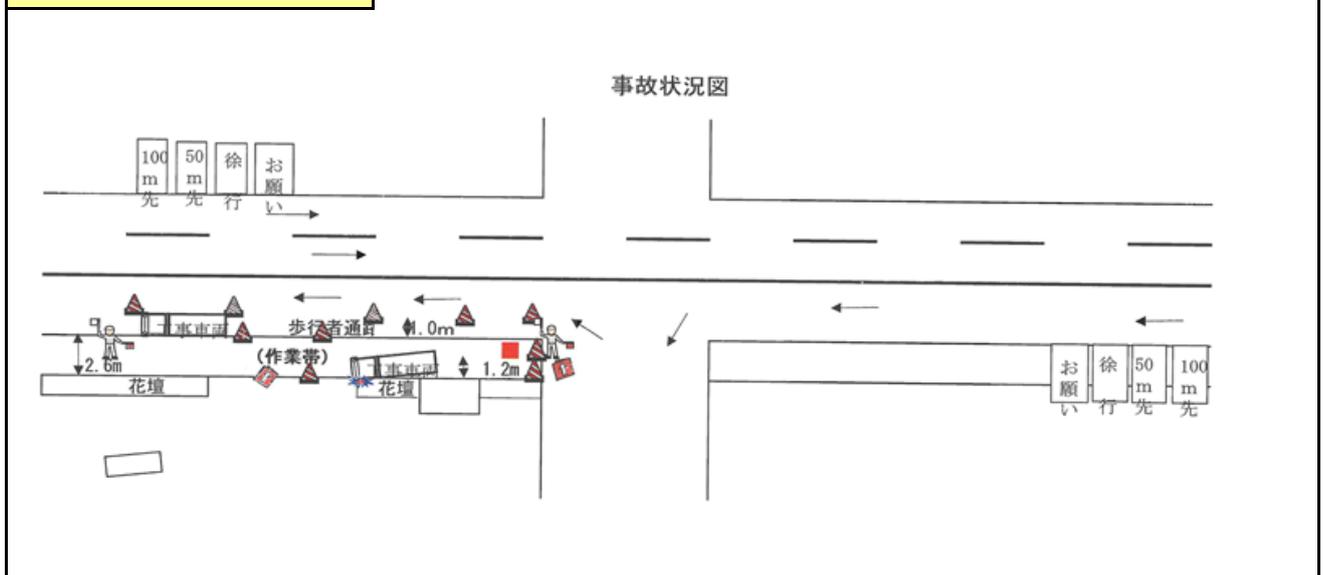


公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年 3月 2日(月曜日) 13時 10分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	花壇の表面タイルの一部剥がれ破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	道路反射鏡設置						
事故概要	反射鏡基礎の生コンクリート打設に、ミキサー車が歩道と民地境の低い花壇にミキサー車のタイヤホイールカバーが接触し、一部表面のタイルを剥がし破損させた。						
事故原因	ミキサー車の作業時における誘導合図がなされていなかった。						
改善策	事故後の作業日には、KY活動内での事故防止の注意及び合図の申し合わせを確認し、また狭い場所での生コン打設は一輪車でいった。また、安全教育での研修で元請け・下請け共情報共有をおこなった。						

事故状況図



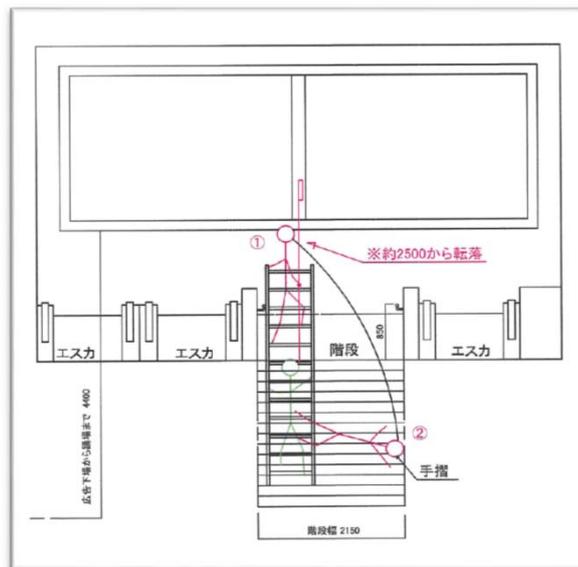
改善状況図



公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和2年3月17日(火曜日) 00時26分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	墜落・転落	性別	男性	年齢	55	業種区分	設備
被災程度	右硬膜下血腫・右前頭葉脳出血			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	4日以上
工事概要	広告の保守及び補修						
事故概要	階段上部の広告の簡易清掃作業中に、約2.5mの高さの脚立から転落						
事故原因	2m以上の高所での作業であるにも関わらず、作業床の設置など労働安全衛生法上の必要な措置を採らず、脚立での作業を行ったことによる。						
改善策	高所での作業には、作業箇所に適した足場組立等の方法による作業床を設ける。 作業員全員で行うK・Yミーティング等において危険個所の周知や不安全行動の抑止教育を行う。						

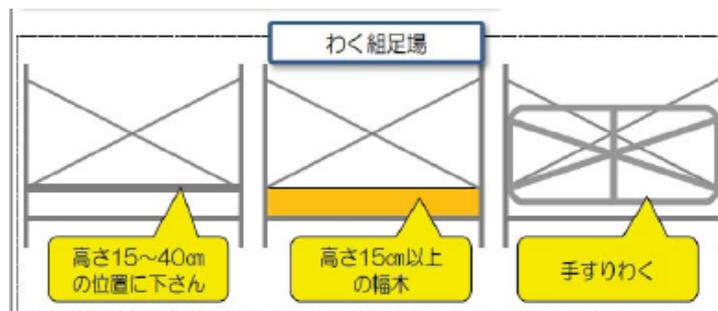
事故状況図



2m以上の高所作業する際に、脚立を伸ばしてその上に立って作業を実施

改善状況図

改善後の足場のイメージ図

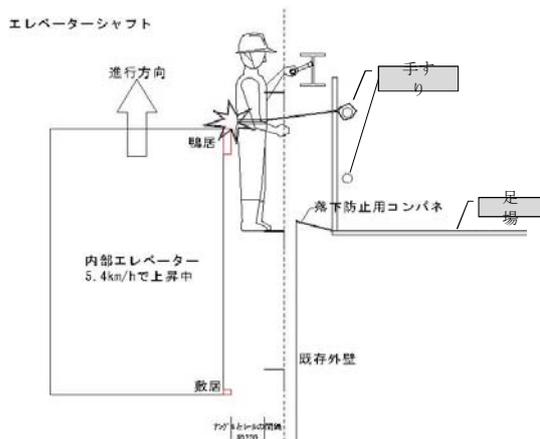


2m以上の高所作業をする際に、足場による作業床を設置し、さらに開口部は転落防止の柵を設置したうえで作業を実施

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和2年3月18日(水曜日) 13時25分			工事関係者区分	三次下請
事故区分	挟まれ・巻き込まれ	性別	男性	年齢	44歳	業種区分	建築
被災程度	左腕・肋骨・背骨の骨折			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	1年
工事概要	塔体の外部鉄骨の塗装など						
事故概要	地上30m付近南側において、塔体鉄骨の塗装を行っていた作業員が、エレベーターシャフト外から塗装しにくい場所があったため、シャフトの外装板を取り換えるために既存の外装板を撤去していた箇所からシャフト内に入り塗装作業を行っていたところ、上昇するエレベーターと接触したものの。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・昼の作業時間を13:30～15:00としていたが、エレベーター停止前に作業を開始しており、13:25に事故が発生したものの。 ・エレベーターシャフト内に入らずに作業することとしていたが、作業員が手すりを超えてシャフト内に入り作業していたもの。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ①安全担当職員を増員し、作業開始前に現場巡回を行う ②エレベーター停止後、作業員全員に作業開始の連絡をしてから作業に取り掛かる。 ③作業フロアから見える足場内部にパトランプを設置し、エレベーター稼働時間は点灯させる ④足場内部にエレベーター稼働時間表の掲示と時計を設置する。 ⑤シャフトの外装板を撤去している箇所に侵入防止のトラロープを設置する。 						

事故状況図



発生状況



発生場所写真

改善状況図



時計・パトランプ設置写真

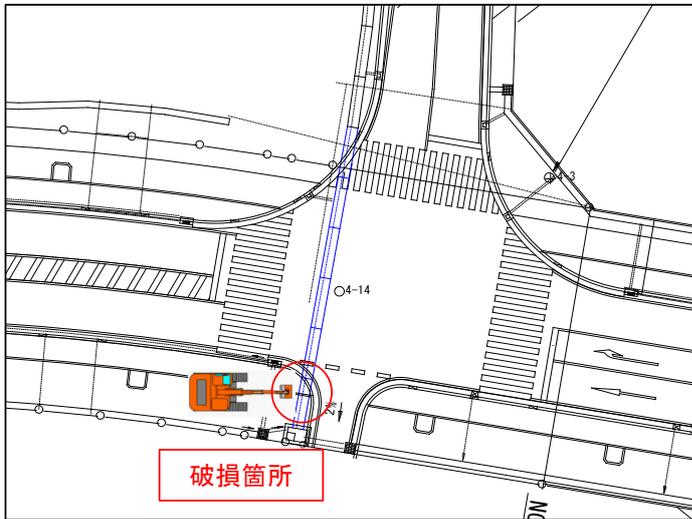


立入禁止措置写真

事故・改善報告書

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 3月11日(水曜日) 9時50分			工事関係者区分	
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	埋設管(FRP管φ800損傷)			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	道路舗装工事						
事故概要	整地されていない作業箇所でバケットを下げたままバックホウを後退させた際、バックホウがバウンドしバケットの爪が管に接触し損傷させたもの						
事故原因	埋設物近傍でバックホウによる作業を行ったため、併せて現場地盤を均していなかったため。						
改善策	事故防止のため現場作業前に不陸地盤の整地を行った。併せて、地下埋設物が近接する箇所は人工施工を実施することとした。						

事故状況図



現場写真



改善状況図

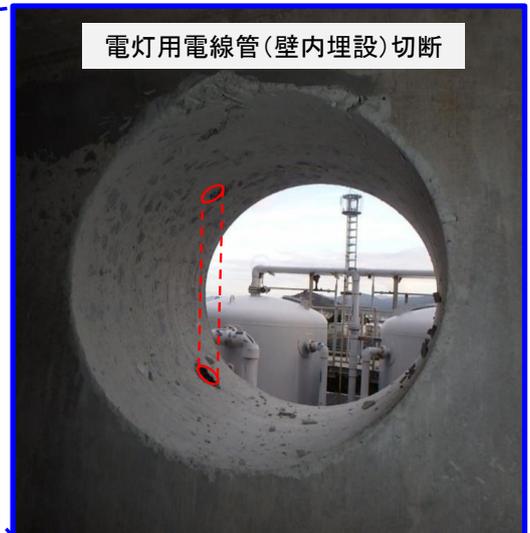
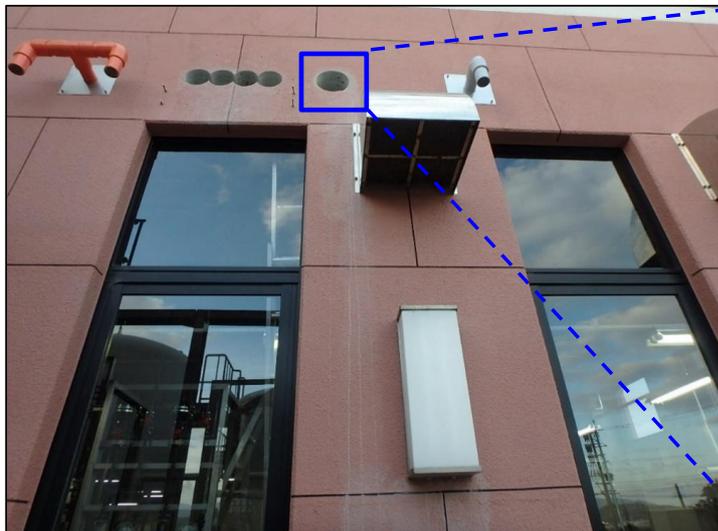
整地完了写真



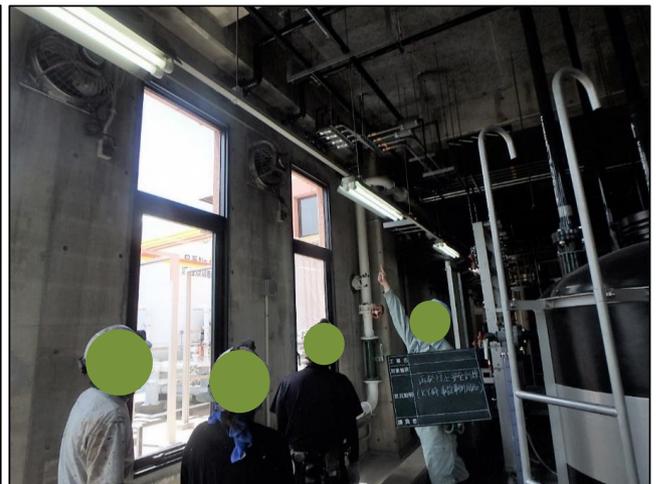
公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和2年3月16日(月曜日)17時00分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	設備
被災程度	電灯用電線管(壁内埋設)切断			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	薬品注入設備更新工事						
事故概要	屋内から外壁へ設備配管を貫通させるために必要な建物壁面の削孔作業を行っていたところ、削孔箇所において上下方向に配置されていた電灯用電線管を切断したものの。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> 削孔箇所の埋設物調査、確認が十分でなかった。 監督員や施設管理者との事前協議が十分でなかった。 						
改善策	安全会議において、事故の発生状況や原因を説明し、再発防止対策(既存図面等で電線管などの埋設物調査や施設管理者との事前協議の徹底)の確認を行った。						

事故状況図



改善状況図



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 2年 3月19日(土曜日) 16時00分			工事関係者区分	元請け
事故区分	車両・自転車等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	車両の汚損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	舗装工事						
事故概要	アスファルト合材敷き均し作業中に、作業員がスコップを用いて余剰合材をフィニッシャー内へ戻す際に、合材が飛散して通行中の車両に当たったもの。						
事故原因	現場作業を急いだため、スコップに残っていた合材を確認せず次の作業に移った時に作業帯の外に飛散した。この際、通行中の車両に接触した。						
改善策	交通量が多いため作業箇所と一般車両通行境界には誘導員を配置し、規制外への飛び出し及び埃等の飛散を起こさない。						

